

# 2024 クラブマンロードレース第1戦

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
<b>■Eアンリミテッド 参加: 8台/入賞: 2位</b>					
1	46	山中 正之	MCR ガレージ	H-CBR1000RR	25
2	3	高原 昌幸	EISHIN レーシング	Y-YZF-R1	20
3	4	吉野 倫夫	RT.Remotion	Y-YZF-R1	16
4	88	鎌田 淳	Leon & RGTT Racing	Y-YZF-R1	13
5	2	蔵本 勝美	プライベートレーシング☆TSK	Y-FZF-R1	11
6	7	中村 清隆	RT.Remotion	Y-YZF-R1	10
7	51	水津 英彦	Team PRIZE	BMW-S1000RR	9

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
<b>■OV40-LEGEND 参加: 14台/入賞: 4位</b>					
1	2	蔵本 勝美	TSK & ハニービー	H-CBR1000RR-R	25
2	56	林 勝輝	皆様! FD 様! 感謝!!!	DUCATI-998R	20
3	45	高野 利勝	(04/21) チームRSカタクラ	Y-XJR1200	16
4	29	霧生 晴彦	チ-ム☆マジンハット	DUCATI-Panigale V4R13	13
5	17	伊藤 延佳	Bullets	Y-MT-09	11
6	40	高橋 季之	静岡スポ-ツライダーズ&望月太喜十郎	K-ZRX1200DAEG	10
7	47	小森 輝	BRT(ブラストレーシング&ツリング)	K-Z900	9
8	72	安西 桑一	チームRSカタクラ&RF.Team Jun	Y-YZF-R1	8
9	41	鈴木 伸也	BRT(ブラストレーシング&ツリング)	K-Z900RS	7
10	88	吉田 光広	BRT(ブラストレーシング&ツリング)	S-GSX1000S 刀	6
11	44	梶田 英男	BRT(ブラストレーシング&ツリング)	Y-YZF-R6	5
12	64	市川 禎之	REAL FLAT	K-KZ1000J	4

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
<b>■スーパーモンスター80s-A 参加: 4台/入賞: 1位</b>					
1	31	川合 邦晃	静岡スポ-ツライダーズ	K-Z1-R	25
2	67	比留間 俊一	(04/21) ロッドマスターズ MC	K-KZ1000J	20
3	30	佐藤 正之	(04/21)GP クラフト	K-Z900	16
4	71	前田 弘樹	静岡スポ-ツライダーズ	K-Z1000MK- II	13

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
<b>■スーパーモンスター80s-B 参加: 1台/賞典外</b>					
1	48	水野 豊彦	(04/21)Roadrace-1DAY-Lisence	K-ZEPHYR1100	--

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
<b>■サイドカーF I 参加: 6台/入賞: 2位</b>					
1	12	小沼 英明/ 冨本至高	team TRS	KUMANO-LCR-GSX-R1000	25
2	5	吉野 晴夫/ 渡辺富士男	レイズ SUWA	YZF-1100R	20
3	28	栗原 亨/ 小田切俊	ウ'アンダ' レーシング' アヅキ'	LCR- ハヤブサ	16
4	9	粕谷 悦次/ 小林佳南	Team 赤蜻蛉	LCR-GSX-R1000	13
5	6	原口 修/ 中村健太	ウ'アンダ' レーシング' アヅキ'	LCR-CBR954	11
6	36	小泉芳実/ 中山結稀	ウ'アンダ' レーシング' アヅキ'	LCR-GSX-R1000	10

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
<b>■サイドカーF II 参加: 3台/入賞: 1位</b>					
1	13	平知恭/ 平有紀	Club Taira Promote	LCR-F2-600	25
2	33	大和田 重実/ 古矢 満	OCTRUN RACING	MR- エキップGSX-R600	20
3	11	関原 肇/ 秋山喜一	ウ'アンダ' レーシング' アヅキ'	YZF-GSX-R1100	16

## < RACE REPORT >

2024シーズンの開幕戦となる第1戦・筑波大会は、素晴らしい好天に恵まれ絶好のレース日和!今回も多くの参加者、そして多くの観戦客が集まり、パドックは大賑わい。いつもより多めに用意した大会プログラムが足りなくなりそうな勢いでした。

さてレースの方は、Eアンリミテッドクラスにはマン島TTレース参戦のため出発準備中の#46 山中 正之選手(MCR ガレージ)がH-CBR1000RRで参戦し、ポール to ウインで優勝。続いてスタートから山中選手に負けじとウイリー気味のスタートで意気込みを見せた#3 高原 昌幸選手(EISHIN レーシング) Y-YZF-R1 は僅差で2位。なんとトップ2台は1分を切るラップタイムで周回していた。

オーバー40レジェンドクラスは#2 蔵本 勝美選手(TSK & ハニービー)がH-CBR1000RR-Rで優勝。混走のスーパーモンスター80'sでは#31 川合 邦晃選手(静岡スポ-ツライダーズ)がK-Z1-Rで優勝。2位には#67 比留間 俊一選手(ロッドマスターズ MC)がK-KZ1000Jで入り、まさに'80年代スーパーバイカーズを彷彿とさせるルックスで観客を沸かせた。

特徴的なフォルムのサイドカークラスは、上位クラスのF Iクラスでは#12 小沼 英明選手/ 冨本至高選手(team TRS)がKUMANO-LCR-GSX-R1000で優勝。F IIクラスでは#13 平知恭選手/ 平有紀選手(Club Taira Promote)の夫婦ペアが

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
<b>■GP125 参加: 4台/入賞: 1位</b>					
1	13	石川 武	TEAM WIN-JACK	H-RS125R	25
2	33	佐藤 弘志	プライベートレーシング&ハニービー	H-RS125R	20
3	6	木村 一弘	RACING HORNET	H-NSF250R	16
4	11	越猪 友美子	チ-ム☆マジンハット(ゆみばへ連れけずる)	H-RS125R	13

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
<b>■NEOプロダクション250 参加: 9台/入賞: 3位</b>					
1	29	三須 信次	チーム クリモト	H-CBR250RR	25
2	16	禰田 裕充	ゆずまるc with レンタルバイク2436G0	H-CBR250RR	20
3	45	久保 隆	プライベートレーシング&ハニービー	H-CBR250RR	16
4	36	雷山 卓	TEAM ZAMAER'S	K-Ninja250	13
5	39	久保田 明紀	チ-ム☆マジンハット	K-ZZR250RR	11
6	35	秋山 亮治	Club Taira Promote リリカAMENA	H-CBR250RR	10
7	34	矢野 慶一	チ-ム☆マジンハット	H-CBR250RR	9
8	3	木村 浩之	プライベートレーシング&ハニービー	H-CBR250RR	8
9	76	武田 三雄	(04/21) 秋葉 MC animo!	H-CBR250RR	7

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
<b>■NEO-A 参加: 3台/入賞: 1位</b>					
1	37	佐野 富三治	チーム HIRO	Y-RZ250R	25
2	64	小池 淳一	プライベートレーシング&ハニービー	H-NSR250R	20
3	58	石松 健夫	(04/21) 秋葉 MC animo!	K-ZX-25R	16

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
<b>■NEO-B 参加: 1台/賞典外</b>					
1	1	久保 時彦	Team Domani	Y-YZF-R3	--

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
<b>■2&amp;4-クワトロフィー 参加: 3台/入賞: 1位</b>					
1	63	池野 史典	NOGARO RACING	PP-PNF85	25
2	30	中鋸 宏道	パワ'ハイ'P レーシング	H-RS85	20
3	43	石川 裕司	NOGARO RACING	PP-PNX85	16

LCR-F2-600で優勝した。

2000年前後に世界選手権でも日本人ライダーが大活躍していた時代を象徴する、純粋な125ccレース専用車両で争われるGP125クラスでは、#13 石川 武選手(TEAM WIN-JACK)がH-RS125Rで優勝。

250cc市販車両で闘うNEOプロダクション250クラスは、#29三須 信次選手(チーム クリモト)がH-CBR250RRで優勝。ネオクラシック250cc車両が争うNEO-Aクラスは#37 佐野 富三治選手(チーム HIRO)が懐かしの名車Y-RZ250Rで優勝した。

2&4クラブマントロフィーでは#63 池野 史典選手(NOGARO RACING)がPP-PNF85で優勝した。

1980年までに市販された車両(125クラスは1983年まで)が対象の旧車レース、COTT-125クラスでは#73 浜 元司選手(チーム HIRO)が'79年式H-MT125Rで優勝。COTT-90クラスでは#26 尾崎 則之選手(パワ'ハイ'P レーシング)が'80年式H-CR80で優勝。COTT-50クラスでは#2 小林 哲志選手(チーム 永楽)が'68年式S-AC50で優勝した。

ハーレーやインディアンなど1940年代~60年代までのアメリカンを中心としたAVCCでは、モディファイドAクラスに#40 熊谷 勝司選手(Team KUMA SPEED)が'46年式HD-FL1380で優勝。モディファイドBクラスは#85 田邊 英孝選手(ナチュラルスティールワークス)が'45年式HD-G900で優勝。ストックBクラスでは#81 堀江 誠太選手(45 POWER N.S.W)が'39年式HD-WLDR750で優勝。ショベルヘッドオープンクラスとなるFSCRクラスでは#77 西田 裕選手(JOYRIDE SPEED SHOP)が'76年式HD-FLH1450で優勝。そして今回からCSSCはAVCCと混走となったため、ハーレーグループの中で賑わって欲しい。

そしてコラボ開催の外車メインのヴィンテージLOCグループや、イタ車などの外車を中心としたMAX10グループ、45分耐久のED3000グループなどもあり、1日で盛りだくさんのメニューを堪能できるのもMCFAJの特徴でもあります。

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
<b>■COTT-125 参加：3台/入賞：1位</b>					
1	73	浜元司	チーム HIRO	H-MT125R	25
2	40	松原 孝範	TEAM RISING & 永楽	RS125R	20
3	6	有澤 弘幸	チーム クリモト	H-CB125JX	16
<b>■COTT-90 参加：5台/入賞：2位</b>					
1	26	尾崎 則之	パワーバイク レーシング	H-CR80	25
2	35	奥津 靖良	日大 & 明治 MCC	Y-YZ80	20
3	30	松橋 満	チーム 永楽	BS-90	16
4	54	須永 博	YSS レーシング ☆ アクティビティ	H-CR80RB	13
<b>■COTT-50 参加：4台/入賞：1位</b>					
1	2	小林 哲志	チーム 永楽	S-AC50	25
2	481	小川 宗一郎	チーム 永楽	S-AC50	20

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
<b>■AVCC-MDF-A 参加：2台/入賞：1位</b>					
1	40	熊谷 勝司	Team KUMA SPEED	HD-FL1380	25
2	5	牧田 武史	Team KUMA SPEED	HD-FL1350	--
<b>■AVCC-MDF-B 参加：7台/入賞：2位</b>					
1	85	田邊 英孝	ナチュラルスティールワークス	HD-G900	25
2	39	新宮 慶之	パレオオートレーシング	INDIAN-Sport Scout900	20
3	99	佐久間 隆介	クリームモーターサイクル	INDIAN-Sport Scout900	16
4	32	土井 樹生	Valley Auto Racing	HD-WR750	13
5	41	笠井 隼人	BELLCRANK RACING	INDIAN-Sport Scout900	11
6	60	船水 猛	TOKYO INDIANS RACING CLUB	INDIAN-BIG BASE900	10
<b>■AVCC-STOCK-B 参加：8台/入賞：2位</b>					
1	81	堀江 誠太	45 POWER N.S.W	HD-WLDR750	25
2	88	山本 智史	R coffee racing	HD-WLDR750	20
3	62	仁井田 光則	ナチュラルスティールワークス	HD-WLDR750	16
4	75	砂辺 太郎	Natural Steel Works	HD-WLA750	13
5	72	鈴木 健人	TEAM SUZUICHI	HD-G750	11
6	73	古山 彰一	ism Bike Service	HD-WLA750	10
7	86	熊本 孝二	45 POWER N.S.W	HD-WL750	9
8	65	小林 寛明	Natural Steel Works	HD-WL750	8
<b>■AVCC-FSCR 参加：15台/入賞：5位</b>					
1	77	西田 裕	JOYRIDE SPEED SHOP	HD-FLH1450	25
2	26	米澤 政幸	TEAM-HOT-DOCK	HD-XR750	20
3	3	伊藤 一也	FIRST ARROW'S	HD-XR750	16
4	6	鈴木 拓磨	AVCC	HD-FX1200	13
5	52	伊藤 毅	ROUGH MOTORCYCLE	HD-FLH1450	11
6	47	TOM	CHALLENGER RACING	HD-FLH1450	10
7	56	柴田 達介	ROUGH MOTORCYCLE	HD-FXE1340	9
8	54	清野 正光	ROUGH MOTORCYCLE	HD-FXS1340	8
9	8	片吉 徹	替え玉レーシング	HD-FLH1340	7
10	14	藤田 亮	ROUGH MOTORCYCLE	HD-FL1340	6
11	7	渡邊 清和	オートラフック アジマ	HD-XR750	5
12	89	近藤 純司	HOT-DOCK	HD-XR750	4
13	20	窪田 靖弘	Hill City Racing with 替え玉	HD-FL1410	3
14	42	米本 利在	RASH RACING CLUB	HD-WLA750	2
<b>■CSSC-OPEN 参加：1台/賞外</b>					
1	96	石黒 恒好	ZERO Engineering	HD-XR1000	--

<協賛スポンサー各社様>

(株)アライヘルメット / (株)アールエスタイチ / (有)アルファー エファールビー  
 カンパニー / (株)イングラム / (株)ビート (Norton) / FTK OIL PRODUCTS /  
 (有)エフェクト / オレンジワークス / (有)オートスタジオ スキル / (株)協和興材 /  
 (有)小寺自動車販売 / (株)ダンロップタイヤ / (有)テクニクス / (株)ナイトロンジャパン /  
 (有)NUTECJapan / (株)ブリヂストン / (有)フォーシーズンズ / (株)フォトクリエイト /  
 プライドワン / 北湘モーターサイクル / マーキュリープロダクツ(株) / METEOR APAC (株) /  
 (株)ニック / 望月太喜十郎 / (株)新栄 - ラビット三鷹 / (有)日高システム / ワークスワン /  
 PHOTO HUNTER / 他 (順不同)



①



②



③



④



⑤

- ①②最速クラスのEアンリミックスではマン島TTレース参戦を控えた #46 山中正之選手と、ディフェンディングチャンピオン #3 高原昌幸選手のトップ争いが大迫力。ご家族にご不幸があった高原選手は黒い腕章を付けて参戦。表彰台では天を仰ぐ姿が印象的だった。
- ③暫定表彰式ではNORTON ブランドから提供いただいたウエアがプレゼントされた。
- ④ AVCC では全日本 MX の実況でも有名な恩田浩彦氏が MC を勤め、大いに盛り上がった。
- ⑤今回から決勝を2レースに分けて行った AVCC クラスは、全国各地からヴィンテージハーレーが参戦。